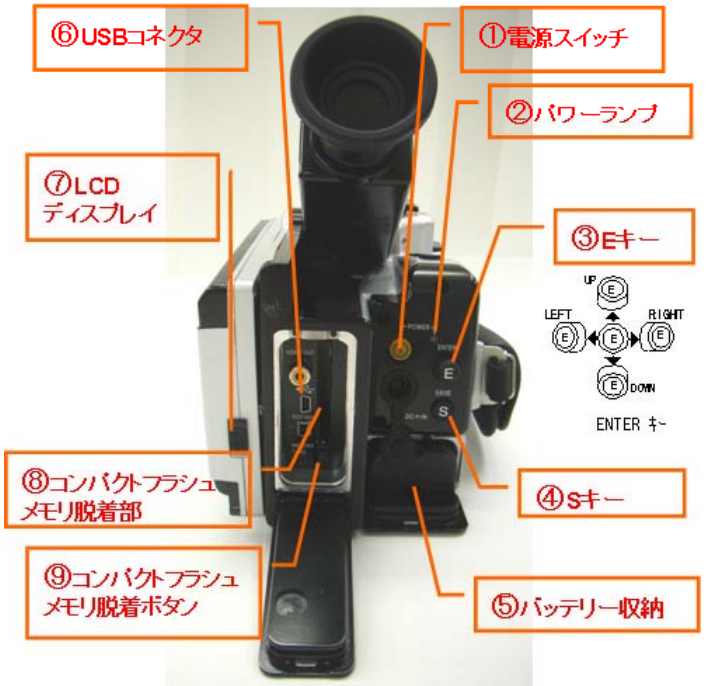
（社）日本非破壊検査協会　赤外線サーモグラフィ試験Level1用

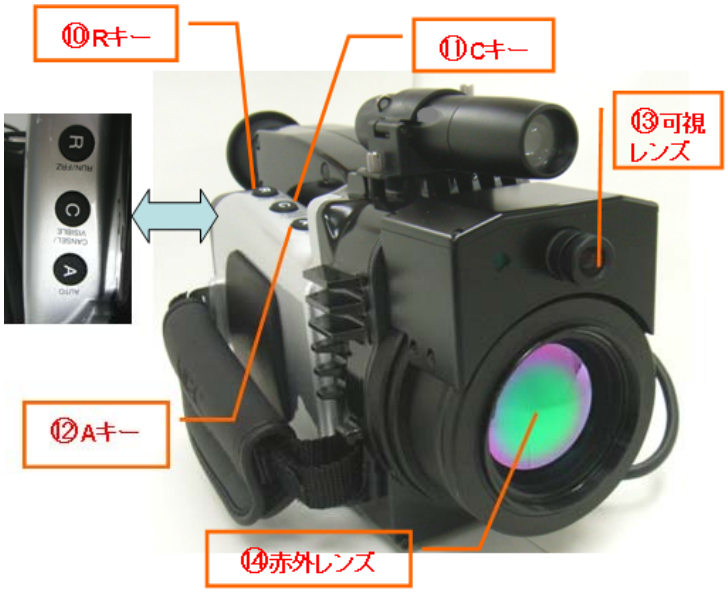
H2630簡易取扱説明書

4/19/2012 VER.1.4

NEC Avio赤外線テクノロジー株式会社

各部・キーの説明





①電源スイッチ	長押しでパワーON状態になり②のパワーランプが点灯します。パワーOFF状態にする場合も本ボタンを長押します。
②パワーランプ	電源がON状態である間点灯しています。
③Eキー （ジョイステイック）	上下左右及び押込む操作が行えます。
④Sキー	データをセーブします。 その他にポイントカーソル設定時にも使用します。
⑤バッテリ収納	バッテリを収納します。
⑥USB コネクター	パソコンと本機を結合しデータを転送します。
⑦LCD ディスプレイ	LCDディスプレイフックを下げるとフックがはずれます。
⑧コンパクトフラシュメモリ脱着	コンパクトフラシュメモリを挿入・脱着します。
⑨コンパクトフラシュメモリ脱着ボタン	コンパクトフラシュメモリを取出す時は脱着ボタンを押し込みます。
⑩Rキー	RUN：ラン / FRZ：フリーズキー。
⑪Cキー	コマンド操作のキャンセルやエラーの消去 コマンド操作中で無い場合は可視画像に切替わります。
⑫Aキー	オート操作キー フォーカス・温度レベル・スパンがオートにて再表示。
⑬可視レンズ	つまみを回すと可視カメラのピントを調整できます。
⑭赤外レンズ	赤外放射エネルギを集光します レンズリングを回すとピント調整ができます。
⑮コンパクトフラシュカード	図のように表面が右側になるように挿入します。
⑯AC電源供給	ACアダプタ経由で電源を供給します。バッテリが入っていてもAC電源が優先されます。

フォーカス・温度レベル・スパンの設定

電源が入ると画面に赤外画像が表れますがフォーカス・温度レベルが合っていないのでAキーで大雑把に合わせる事ができます。以降は、フォーカスとレベル・感度を手動で調整して見やすい良い画像を作ります。
フォーカスはフォーカスリングを回し手動で調整が行えます。

温度レベル・スパンの設定:

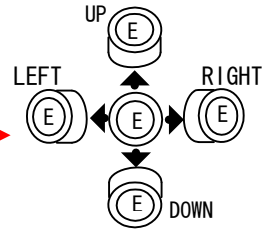
何も操作モードに入っていない状態でEキーを上下左右に動かす事で温度レベルの変更・スパンの変更が行えます。

フォーカスリング
回すとフォーカス調整が行えます。(熱画像)

可視カメラ
フォーカスリング

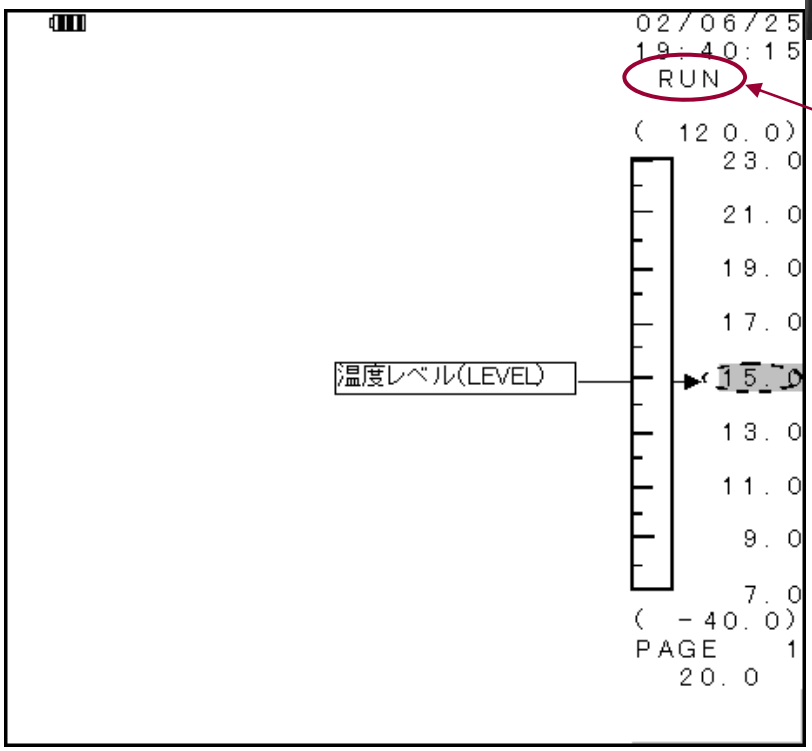
Eキー(ジョイステイック)操作
UP: 中心温度レベルが増加
DOWN:中心温度レベルが減少

RIGHT:スパン(温度幅)が増加
LEFT:スパン(温度幅)が減少



ENTER キー

ジョイスティック(Eキー)

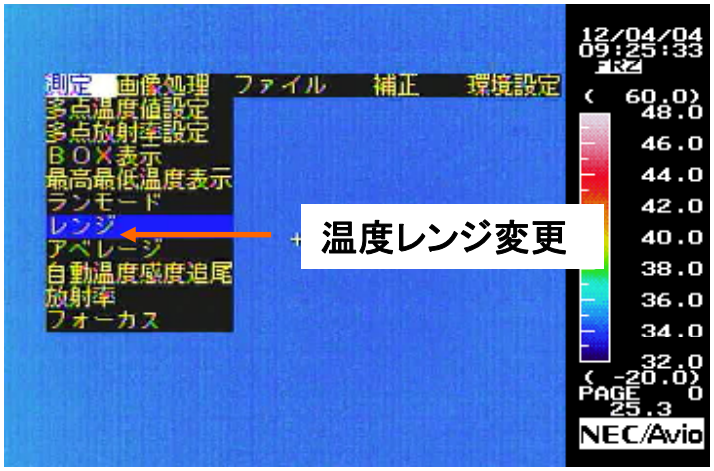


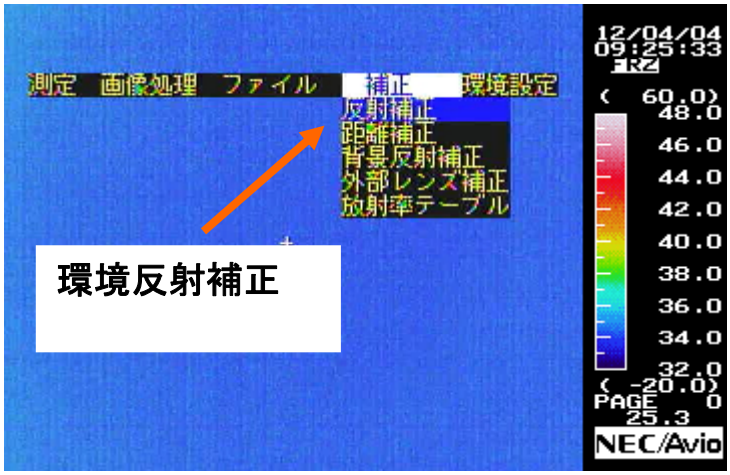
RUN(ラン:画像更新)表示またはFRZ(フリーズ:画像静止)表示です。
特に、断らない限り、操作はRUN(ラン)表示で行います。
FRZ(フリーズ)表示では操作できない項目があります。

スパン(温度幅)
2℃きざみとなっているがEキー操作でこの温度幅を調整できます。

温度レンジ設定・環境反射補正設定

何にも操作モードに入っていない時にEキーを押すとメニュー画面が現れ、個々の設定がEキー（ジョイスティック）で行える様になります。レンジ変更した後は、環境反射補正を実行します。



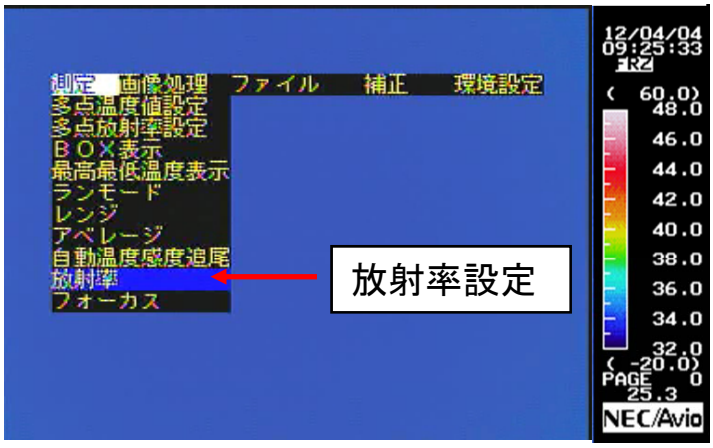


温度レンジを設定。
メニューからレンジを設定し、Eキーを押し込みむとレンジ設定画面になります。レンジを指示書に従いEキーを上下に操作し設定します。モードは固定モードとします。 最後にEキーを押すと設定完了します。

温度レンジを変更した場合は、続けて環境反射補正を行ないます。
メニューから環境反射補正を選択し、Eキーを押し込むと『キャップを閉めてください』とメッセージが出ます。キャップを閉めEキーを押すと補正処理を行います。５～６秒で補正が完了します。

放射率の設定

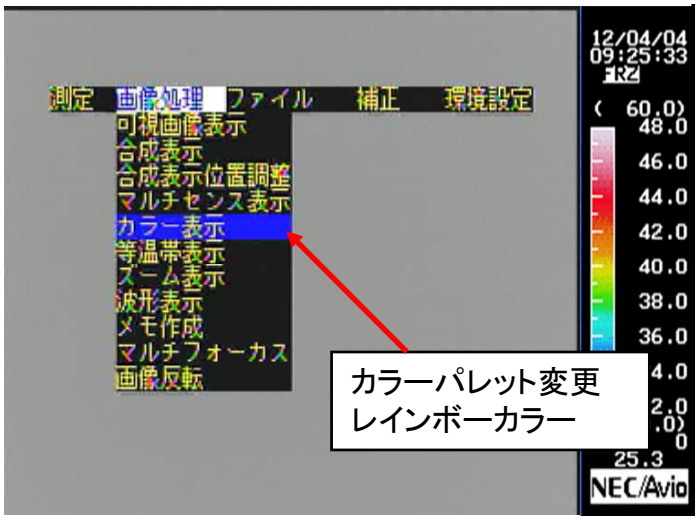
メニューから放射率を選択し、Eキーを押し込むと放射率設定になります。画面上部にE（放射率）の値が表示され、Eキーをジョイスティックとして上下に動かして、放射率を設定します。 最後にEキーを押すと設定完了です。 放射率が1．00の場合は、画面上部に常時は表示されません。

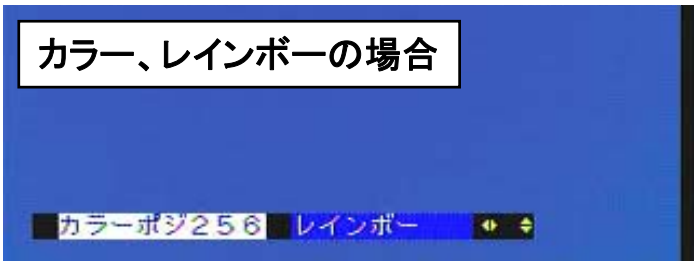


カラーパレットの変更

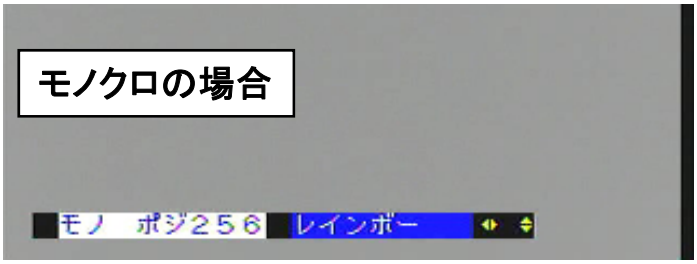
Eキーで左側を「カラーポジ256」に、右側を「レインボウ」、「ファイン」または「シャイン」等のカラーを指定します。最後にEキーを押すと設定完了です。

モノクロ表示の時は、Eキー(ジョイスティック)を上下させ「カラーポジ256」を「モノポジ256」に指定します。 最後にEキーを押すと設定完了です。





Eキーで「カラーポジ256」から右に動かし「レインボー」(上下に動かす)等を選びます



Eキーで「カラーポジ256」を上下に動かして「モノポジ256」に変更するとモノクロになります。（上の例のように「レインボー」はそのままです）

画像保存

中心温度・スパンを変更した後のベストな画像をコンパクトフラシュカードに保存します。
操作：熱画像を表示している状態でRキーでFRZ（フリーズ）表示にします。ブレの無いベストな画像であれば**Sキーを長押し**する事により、赤外画像と可視画像がコンパクトフラシュカードに取り込まれます。Sキーでの取込が受付られると画面の最下位行にセーブファイルNOが一瞬表示されます。

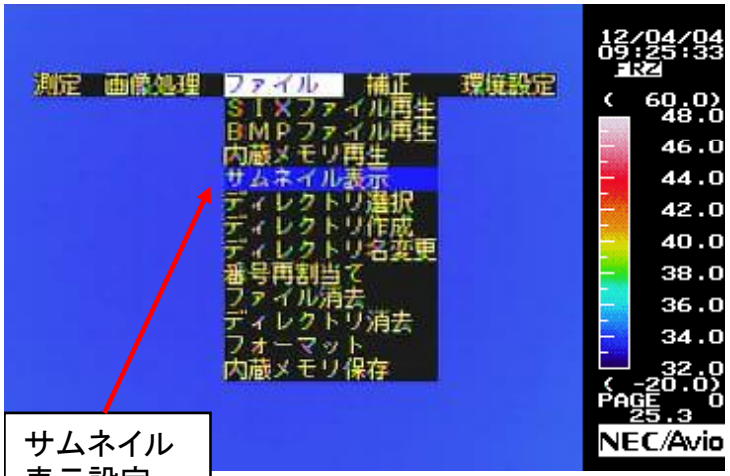
保存終了または保存しない場合は、再度Rキーで画像をRUN（ラン）表示に戻します。

可視画像の確認：Sキーでセーブする前に可視画像も確認しておきます。可視画像のフォーカスは調整できます。 **Cキー**を押すと赤外画像から可視画像に切替ります。赤外画像へ戻す時は再びCキーを2回押します。切替えは、Cキーを押すたびに赤外→可視→合成→赤外　で切替ります。

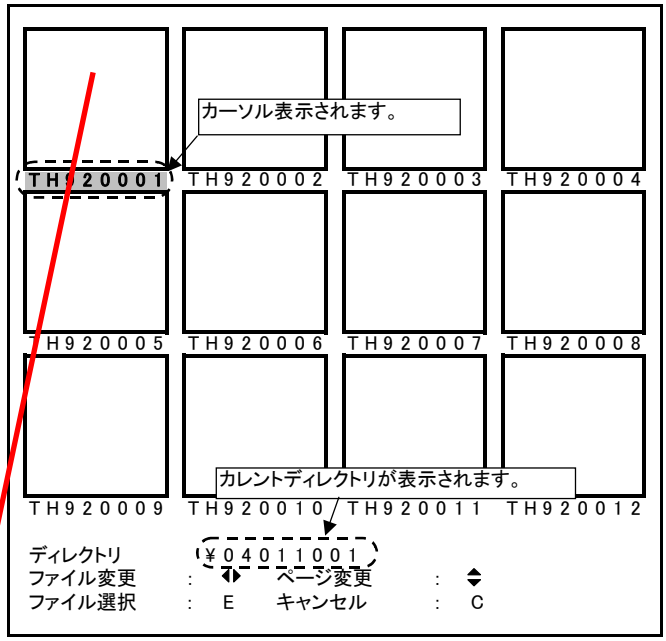
保存されたデータの確認は、サムネイル表示で確認できます。

サムネイル表示と画像再生

メニューからサムネイルを選択し、Eキーを押し込むとコンパクトフラシュカードに記録されている画像を一覧表示します。ページ更新（上下のスクロール）、選択はEキーで行います。Cキーを押すとモードを抜けます。



サムネイル表示設定



カーソル表示された画像は**Eキー**で選択し画像再生できます。
画像再生を終了するには**Rキー**でRUN（ラン）表示にします。

計測を完了したら、コンパクトフラッシュカードを引き抜いて、PCにデータを移します。